

第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画 各事業の実績と評価「総括表」

・達成率について

【目標値あり】

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく
(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
- △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
- ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

・施策群の評価について

【目標値あり】の各事業の達成率(%)について、施策群ごとの平均値を算出し、上記の4つの基準「◎○△▲」によって評価を行った

基本方針	施策群	施策群の評価			目標値あり						目標値なし	
		30年度	元年度	2年度	進捗管理事業数	◎	○	△	▲	-		
	住み慣れた地域で、安心して暮らせる住環境の整備											達成率平均値
住まい	住宅の質の向上	▲	▲	▲	5	1	0	2	2	0	○	43.7%
	多様な住まいの確保	◎	◎	◎	2	2	0	0	0	0	○	147.0%
	居住の支援の充実	◎	◎	△	7	4	1	0	2	0	-	86.1%
					14	7	1	2	4	0		

◎○達成率	57.1	%
-------	------	---

「住宅の質の向上」では、住宅バリアフリー化等支援事業の助成件数が100件となり、令和元年度から約1.3倍に増加したものの、目標件数には達していないため、引き続き周知を行い助成件数の増加を図っていく。また、分譲マンション共用部分バリアフリー化等支援事業については、助成件数が10件となり、目標件数を達成することが出来た。

「多様な住まいの確保」では、当該施策群の全2項目について、目標値を達成することが出来た。

「居住の支援の充実」では、「住まいの講演会」及び「マイホーム借上げ制度説明会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったものの、同2項目の指標を除いた目標の達成度平均値は100%を超えることが出来た。

第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画 各事業の実績と評価「総括表」

・達成率について

【目標値あり】

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく
(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
- △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
- ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

・施策群の評価について

【目標値あり】の各事業の達成率(%)について、施策群ごとの平均値を算出し、上記の4つの基準「◎○△▲」によって評価を行った

基本方針	施策群	施策群の評価			目標値あり						目標値なし	
		30年度	元年度	2年度	進捗管理事業数	◎	○	△	▲	-		
介護予防の推進で“健康寿命日本一のまち”											達成率平均値	
予防	活動の場の提供	○	△	▲	19	2	0	6	11	0	▲	39.3%
	健康づくりへの支援	△	△	▲	10	0	1	1	8	3	▲	22.0%
	介護予防の推進	○	△	▲	10	1	0	3	6	1	△	26.4%
					39	3	1	10	25	4		

◎○達成率 10.3 %

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公民館などの公共施設を令和2年2月末より5月末まで、および12月末より令和3年3月末まで閉鎖した。公共施設の閉鎖に合わせて市民が主催している「シルバーリハビリ体操」なども市の方針に基づき自粛を要請した。これにより介護予防にかかる事業は、ほぼ中止または延期となったため、事業実施数や参加者数を指標とする施策の達成率は激減してしまった。公共施設は6月から段階的に再開し、介護予防にかかる市が主催（共催）する事業やイベントも9月から段階的に再開しているが、未だ再開できない事業もある。

「活動の場の提供」では、シルバーリハビリ体操指導士養成講座や市民スポーツ教室が開催できなかった。また、公園を活用した健康づくり事業は、コロナ禍においての感染予防対策を講じることが難しい5公園が退会し実施公園数が減少した。実施公園数の維持・拡大に向け、関係団体等にアプローチを行う。

「健康づくりへの支援」では、栄養相談や健康相談、健康教育の参加者が激減した。「市民の健康づくり支援に取り組む飲食店等店舗数」については、令和2年11月より船橋市独自制度である食環境整備事業「ふなばしMOREベジ協力店」推進事業を立上げ、市民の野菜摂取量増加につながる取り組みを行う登録店舗数の増加を図った。また、「成人歯科健康診査受診率」については、歯科医師会と連携し、継続して実施していく。

「介護予防の推進」では、外部の専門職により構成する自立支援ケアマネジメント検討会議を年度当初より中止し、9月末より再開したが、感染拡大の状況から再度中止することとなり、目標を達成することができなかった。ふなばし市民大学校は休校となり、「いきいき学部」の授業が開催できなかった。公民館の高齢者対象講座は9月から12月末まで開催したが、目標値の達成には至らなかった。また、各地区社会福祉協議会では、集まっての事業開催ができなかったため、事業実施回数が大幅に減少した。

新型コロナウイルス感染症の早期収束が見通しづらい状況の中で、介護予防の取り組みをどのように推進していくか体制や方法を検討し、目標値達成に向け更なる事業推進が必要である。

第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画 各事業の実績と評価「総括表」

・達成率について

【目標値あり】

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく
(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
- △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
- ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

・施策群の評価について

【目標値あり】の各事業の達成率(%)について、施策群ごとの平均値を算出し、上記の4つの基準「◎○△▲」によって評価を行った

基本方針	施策群	施策群の評価			目標値あり						目標値なし		
		30年度	元年度	2年度	進捗管理事業数	◎	○	△	▲	-			
助け合い活動などの支援体制づくりの推進													達成率平均値
生活支援	生活支援サービスの提供	◎	◎	△	27	11	5	8	3	0	○		89.7%
	地域での支え合い体制の確立	◎	◎	△	6	1	0	2	3	0	◎		53.3%
	移動支援	◎	△	○	5	2	1	1	1	1	○		93.4%
	その他	○	○	▲	15	4	0	2	9	0	-		49.1%
					53	18	6	13	16	1			

◎○達成率 45.3 %

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を中止とした講演会や事業等が多くあったため、「移動支援」以外、目標達成率が令和元年度と比べ減少している。

「生活支援サービスの提供」では、高齢者等食の自立支援事業において配食サービス登録者数が計画目標値を上回る結果となった。協力事業者を増やすなどの課題はあるものの、引き続きパンフレット配架など周知を継続する。

「地域での支え合い体制の確立」では、講演会や事業の中止により、「ミニデイサービス事業補助金交付事業」等の3つの事業において目標値が50%を下回る結果となっている。令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、開催等について検討を行う。保健と福祉の総合相談窓口事業では、同感染症の影響もあり、相談件数が大幅に増加している。

「移動支援」では、高齢者支援協力バスの活用において、利用者が減少する結果となったが、地元要望や利用者累計をもとに利用者のニーズに合ったルートを設定し、引き続き利用者数の増加を図る。

「その他」では、研修会や講座、会議等の中止が多く、目標値を下回る結果となったが、動画配信やZoomを活用するなど感染対策を講じた上での実施を検討していく。そのほか、高齢者の虐待に係る相談件数が大幅に増加していることから、引き続き高齢者虐待防止と権利擁護の推進を図っていく。

第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画 各事業の実績と評価「総括表」

・達成率について

【目標値あり】

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく
(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
- △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
- ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

・施策群の評価について

【目標値あり】の各事業の達成率(%)について、施策群ごとの平均値を算出し、上記の4つの基準「◎○△▲」によって評価を行った

基本方針	施策群	施策群の評価			目標値あり						目標値なし	
		30年度	元年度	2年度	進捗管理事業数	◎	○	△	▲	-		
いつでも安心して必要な介護サービスを利用できる体制の確立											達成率平均値	
介護	介護サービスの量の確保	-	-	-	0	0	0	0	0	0	○	-
	介護サービスの質の確保	◎	◎	△	6	3	0	2	1	0	-	89.5%
	地域包括支援センターの機能強化	◎	○	△	11	5	0	2	4	0	○	71.3%
	認知症対策の推進	◎	◎	△	17	6	0	3	8	0	○	67.1%
	介護サービスの円滑な利用	△	△	△	12	5	2	2	3	1	○	74.8%
					46	19	2	9	16	1		

◎○達成率 45.7 %

「介護サービスの質の確保」では、介護人材の確保や訪問看護職員雇用促進事業など目標値を上回っており、概ね計画に沿って実施されている。

「地域包括支援センターの機能強化」では、計画に沿って実施できた事業がある一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標値を達成できない事業もあった。今後も新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら事業を実施していく。

「認知症対策の推進」では、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、認知症カフェの開催、交流会の実施を見合わせた。今後、状況を鑑みつつ、活動再開に向けて調整していく。

「介護サービスの円滑な利用」では、概ね計画に沿って実施できたが、介護保険の出前講座についても、新型コロナウイルスの影響で実施を見合わせた。今後、状況を鑑みつつ、地域住民や関係団体等から要望があった際には実施を検討する。

第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画 各事業の実績と評価「総括表」

・達成率について

【目標値あり】

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく
(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
- △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
- ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

・施策群の評価について

【目標値あり】の各事業の達成率(%)について、施策群ごとの平均値を算出し、上記の4つの基準「◎○△▲」によって評価を行った

基本方針	施策群	施策群の評価			目標値あり						目標値なし	
		30年度	元年度	2年度	進捗管理事業数	◎	○	△	▲	-		
医療と介護の連携による継続的・一体的なサービス提供体制の確立											達成率平均値	
医療	在宅医療の推進	◎	△	▲	9	2	0	3	4	2	▲	48.1%
	地域医療連携の推進	-	-	-	0	0	0	0	0	1	▲	-
	看護職の確保	◎	◎	◎	1	1	0	0	0	1	-	165.2%
	地域リハビリテーションの推進	◎	△	▲	4	0	0	2	2	0	-	42.7%
	歯科口腔保健の推進	◎	◎	◎	2	1	0	1	0	0	-	110.0%
					16	4	0	6	6	4		

◎○達成率 25.0 %

新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小や、中止となった事業もあったため、全体的に目標値を下回る結果となり、「◎○達成率」は25.0%と低い状況であった。

「在宅医療の推進」では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の前半はほとんど活動ができなかったが、後半にZoom等を活用し徐々に委員会活動を再開し、研修会もオンラインで実施した。

「船橋市在宅医療・緩和ケア・リハビリテーション提供機関マップ」については、令和2年度も作成した。

「地域医療連携の推進」では、かかりつけ医等について、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、イベントや講演会等でチラシを配布し、積極的に普及・啓発を行うとともに、より効果的な周知方法等について、検討していく。

また、国・県等の動向について情報収集に努める。

「看護職の確保」については、ほぼ目標値を達成できている。今後も、看護職復職支援研修会にて潜在看護師の復職支援を行い、看護師等養成修学資金にて市内就職を目指す看護学生の支援を行うことで市内の看護師の充足を目指す。介護保険訪問看護職員雇用促進事業は目標値に達しており、今後も引き続き事業を実施していく。

「地域リハビリテーションの推進」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を達成できなかったが、感染拡大防止策を徹底するほか、オンラインやその他の代替方法による実施も検討しつつ、引き続き、地域リハビリテーション拠点事業として、リハビリ関係者向け地区勉強会、リハビリ関係者向け研究大会、市民向け講演会を開催し、地域リハビリテーションの推進を図っていく。

「歯科口腔保健の推進」については、ほぼ目標値を達成できている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を徹底し、引き続き、口腔ケア講習会や市民講演会を通じて、口腔ケアの重要性を周知していく。

総事業

進捗管理事業数	◎	○	△	▲	-
168	51	10	40	67	10

◎○達成率 36.3 %

住み慣れた地域で、安心して暮らせる住環境の整備

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
 △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
 ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

第8期以降の方向性については
 「△ 拡大」「→ 現状維持」「▽ 縮小」「× 廃止」

通番号	施策群	重点項目	所管課	施策名	指標	【第7期】計画目標値			【第7期】実績						【第7期】達成率			【第7期】評価		
						平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	達成率 (実績/目標値)	令和元年度	達成率 (実績/目標値)	令和2年度	達成率 (実績/目標値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期以降 の方向性	第7期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入	
1		重点	住宅政策課	住宅のバリアフリー改修等に関する情報提供、相談	住まいづくり講演会参加人数	人	50	50	50	21	42.0%	19	38.0%	0	0.0%	▲	▲	▲	×	令和2年度より住まいの講演会に統合
2		重点	住宅政策課	自立支援のための住宅のバリアフリー化等の支援	住宅バリアフリー化等支援事業助成件数	件	200	200	200	73	36.5%	76	38.0%	100	50.0%	▲	▲	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。
3	住宅の質の向上	重点	住宅政策課	分譲マンションの共用部分のバリアフリー化等の支援	分譲マンション共用部分バリアフリー化等支援事業助成件数	件	10	10	10	8	80.0%	5	50.0%	10	100.0%	△	△	◎	→	マンション管理セミナー等を通じて支援事業の周知を行う。
4		重点	高齢者福祉課 住宅政策課	高齢者向けの住宅改修の促進	高齢者住宅改造資金助成件数	件	129	136	143	112	86.8%	150	110.3%	98	68.5%	△	◎	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。
					高齢者住宅整備資金貸付件数	件	1	1	1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	▲	▲	▲	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。
5	多様な住まいの確保	重点	住宅政策課	市営住宅の計画的な供給	市営住宅新規供給戸数	戸	30	25	25	30	100.0%	25	100.0%	25	100.0%	◎	◎	◎	→	・毎年度、UR賃貸住宅を新規に借り上げ供給した。 ・令和2年度に直接建設型住宅2団地、借上型住宅7団地の緊急通報装置を新たなサービスに移行し、平成30年度から段階的に行ってきた移行を完了させた。 ・【第7期計画目標値の根拠】市営住宅供給計画に基づき平成28年度から令和2年度の5カ年で110戸新規供給することとしており、平成28年度に10戸、平成29年度に20戸、平成30年度に30戸供給済みであることから、残りの50戸を令和元・2年度の2カ年で供給するため、各年度25戸の目標値とした。
6		重点□	住宅政策課	親・子世帯近居同居の支援	親・子世帯近居同居支援事業助成件数	件	50	50	50	77	154.0%	74	148.0%	97	194.0%	◎	◎	◎	→	広報等で周知を行い、引き続き事業を継続する。
7		重点□	住宅政策課	情報提供体制の構築	住まいの講演会参加人数	人	50	50	50	31	62.0%	25	50.0%	0	0.0%	△	△	▲	→	令和2年10月24日(土)に開催を予定していたが、コロナウイルス感染症拡大を配慮し中止とした。
8		重点□	住宅政策課	持ち家の活用	マイホーム借上げ制度説明会参加人数	人	50	50	50	31	62.0%	25	50.0%	0	0.0%	△	△	▲	→	令和2年10月24日(土)に開催を予定していたが、コロナウイルス感染症拡大を配慮し中止とした。
9		重点□	住宅政策課	高齢者の住み替え支援	高齢者住み替え支援事業助成件数	件	13	13	13	18	138.5%	19	146.2%	21	161.5%	◎	◎	◎	→	引き続き住まいの相談窓口「住まいるサポート船橋」と連携し、周知していく。
10	居住の支援の充実	重点□	高齢者福祉課	ひとり暮らし高齢者の見守り	緊急通報装置設置台数	台	1,862	2,016	2,172	1,820	97.7%	1,876	93.1%	1,961	90.3%	○	○	○	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き脆弱なひとり暮らし高齢者等への緊急通報装置の貸与を推進する。
					声の電話訪問事業実利用者数	人	63	65	66	63	100.0%	58	89.2%	71	107.6%	◎	△	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。
					声の電話訪問事業訪問回数	回	3,024	3,120	3,168	3,377	111.7%	3,021	96.8%	4,069	128.4%	◎	○	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。
11		重点□	住宅政策課 地域包括ケア推進課	居住支援の仕組みの構築	「住まいるサポート船橋」による賃貸物件成約件数	件	20	20	20	26	130.0%	54	270.0%	23	115.0%	◎	◎	◎	→	新型コロナウイルス感染症の影響により成約件数が減少しているが、今後の高齢者増加に伴い需要が高くなることが予想されるため、引き続き実施していく。 居住支援協議会の相談窓口である「住まいるサポート船橋」の相談事例を踏まえ、サービスの内容等について検討していく。

介護予防の推進で“健康寿命日本一のまち”

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
 △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
 ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

第8期以降の方向性については
 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

通番号	施策群	重点項目	所管課	施策名	指標	【第7期】計画目標値			【第7期】実績						【第7期】達成率			【第7期】評価		
						平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	達成率 (実績/目標値)	令和元年度	達成率 (実績/目標値)	令和2年度	達成率 (実績/目標値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期以降 の方向性	第7期における 取組み・検討課題などの 評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入	
12		重点	健康づくり課	ふなばしシルバーリハビリ体操の推進	シルバーリハビリ体操指導士養成講座開催数	回	6	6	6	6	100.0%	6	100.0%	0	0.0%	◎	◎	▲	→	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、養成講習会の実施が困難であるが、平成30年度、令和元年度はほぼ計画どおりに実施できた。養成講習会が実施できる方法を検討し再開に向け取り組んでいく。
					シルバーリハビリ体操指導士養成数	人	180	180	180	145	80.6%	94	52.2%	0	0.0%	△	△	▲	→	65歳以上の100人に1人の体操指導士が誕生するよう養成していく。年養成数が減少傾向にあるため、参加しやすい講習場所を増やすなど養成数の向上を図っていく。
					シルバーリハビリ体操延指導士数	人	690	870	1,050	636	92.2%	730	83.9%	730	69.5%	○	△	△	→	65歳以上の100人に1人の体操指導士の誕生を目標に取り組んでいく。
					シルバーリハビリ体操延上級指導士数	人	10	10	10	10	100.0%	10	100.0%	10	100.0%	◎	◎	◎	→	原則3年に1回、養成講習会を行っていくが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施が困難なため、翌年に延期し実施予定。
					シルバーリハビリ体操指導士により開催される延体操教室数	か所	60	70	80	81	135.0%	95	135.7%	35	43.8%	◎	◎	▲	↗	平成30年度、令和元年度は計画以上に開催されていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっている教室多い。今後、感染対策をしながら各地区コミュニティで体操指導士が開催する体操教室を増やし、身近に地域で体操が行えるよう取り組んでいく。
13		重点	地域保健課	公園を活用した健康づくり事業の実施	公園を活用した健康づくり事業実施公園数	か所	40	54	54	31	77.5%	38	70.4%	35	64.8%	△	△	△	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月から事業中止。感染症予防対策を講じ、11月15日～12月25日一時事業再開したが感染症予防対策を講じることが難しい公園については退会となった。令和2年12月26日～令和3年3月31日についても事業中止となった他、イベント・交流会も中止等となり、従前からの実施公園代表者との交流等も減少、実施公園数の増加に向けたアプローチができなかった。令和3年度は再開した実施公園を維持継続させていくとともに、検討会議での意見を注視し、事業実施公園数の増加に向け、関係機関等にアプローチしていく。
					延年間利用者数	人	350,000	353,000	355,000	315,158	90.0%	279,624	79.2%	50,513	14.2%	○	△	▲	→	指定管理者による管理運営を行うとともに、指導、監督を行い、高齢者が利用し易い環境整備に努める。なお新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は4月から6月中旬までと、12月下旬から3月末まで施設を休館した。また開館期間中のほとんどでクラブ・各種事業を中止するなど利用制限を行った。
14		高齢者福祉課	老人福祉センター	老人憩の家	施設数	か所	40	40	40	36	90.0%	36	90.0%	35	87.5%	○	○	△	→	引き続き「老人憩の家」の適正な配置に努める。
					延年間利用者数	人	51,000	51,000	51,000	48,252	94.6%	41,721	81.8%	0	0.0%	○	△	▲	→	ひとり暮らし高齢者いきいき健康教室の会場などとしても活用し、利用者の拡大を図る。新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度末より閉鎖しているため、令和2年度実績に影響している。
15		高齢者福祉課	老人クラブ	老人クラブ	クラブ数	クラブ	263	263	263	257	97.7%	246	93.5%	236	89.7%	○	○	△	→	老人クラブ活動が活発に行われるように引き続き支援していくとともに、福祉ガイドなどで対象者への周知を図る。
					会員数	人	14,000	14,000	14,000	13,110	93.6%	12,358	88.3%	11,711	83.7%	○	△	△	→	老人クラブ活動が活発に行われるように引き続き支援していくとともに、福祉ガイドなどで対象者への周知を図る。
16	活動の場の提供	高齢者福祉課	老人生きがい広場	老人生きがい広場	施設数	か所	5	5	5	5	100.0%	5	100.0%	5	100.0%	◎	◎	◎	→	引き続き、利用人数や稼働率を考慮し、ゲートボール場の適切な配置に努める。
					延利用者数	人	14,500	14,500	14,500	10,846	74.8%	10,746	74.1%	7,596	52.4%	△	△	△	→	高齢者の健康の維持・増進と相互の親睦を図れるよう、利用者が使用しやすい環境の維持・管理に努める。新型コロナウイルス感染症の影響により一時閉鎖したため、令和2年度実績に影響している。
17		高齢者福祉課	高齢者いきいき健康教室	実参加高齢者数	人	670	670	670	699	104.3%	671	100.1%	214	31.9%	◎	◎	▲	↗	引き続き教室の周知を行い、事業を継続して行く。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時教室を中止したため実績に影響している。	
18		高齢者福祉課	ひとり暮らし高齢者いきいき健康教室	実参加高齢者数	人	160	160	160	160	100.0%	145	90.6%	0	0.0%	◎	○	▲	×	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により全ての教室を中止したため実績に影響している。※令和3年度より高齢者いきいき健康教室に統合	

介護予防の推進で“健康寿命日本一のまち”

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
 △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
 ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

第8期以降の方向性については
 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

通番号	施策群	重点項目	所管課	施策名	指標	【第7期】計画目標値			【第7期】実績						【第7期】達成率			【第7期】評価		
						平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	達成率 (実績/目標値)	令和元年度	達成率 (実績/目標値)	令和2年度	達成率 (実績/目標値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期以降 の方向性	第7期における 取り組み・検討課題などの 評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入	
20			生涯スポーツ課	市民スポーツ教室	教室数	教室	7	7	7	7	100.0%	7	100.0%	0	0.0%	◎	◎	▲	→	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全ての教室を中止とした。各加盟団体に多くのスポーツ教室を開催してもらうように開催していない競技にも呼びかけを行ってきたが、教室の開催に至らない。引き続き教室の周知を行うとともに、次期は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で事業を継続できるよう検討し実施して行く。
					延利用者数	人	1,300	1,300	1,300	1,474	113.4%	1,315	101.2%	0	0.0%	◎	◎	▲	→	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全ての教室を中止とした。引き続き教室の周知を行うとともに、次期は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で事業を継続できるよう検討し実施して行く。
21			高齢者福祉課	ひとり暮らし高齢者等地域交流促進事業	延補助金交付団体数	団体	15	15	15	7	46.7%	8	53.3%	1	6.7%	▲	△	▲	×	福祉ガイド等への掲載や地区社協等に対し事業を周知し、利用団体増に努めたが、増加には至らなかった。なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時事業を中止したため実績に影響している。 ※来季以降は事業を実施しない
					延参加高齢者数	人	700	700	700	495	70.7%	469	67.0%	18	2.6%	△	△	▲	×	福祉ガイド等への掲載等により、利用者増に努めたが、増加には至らなかった。なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時事業を中止したため実績に影響している。 ※来季以降は事業を実施しない
22		重点口	健康づくり課	特定健康診査受診率、特定保健指導実施率の向上及び健診結果の活用、セルフマネジメント支援	特定健康診査受診率	%	50	52	54	47.1	94.2%	48.0	92.3%	-	-	○	○	-	→	目標達成に向け、新たにAI(人工知能)を活用した受診勧奨を行うとともに、健診未受診者の受診の切っ掛けとなるよう人間ドック及び脳ドック費用助成により受診率の向上を図っていく。 なお、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通年で健診事業を実施することができなかった。
					特定保健指導実施率	%	35	40	45	30.8	88.0%	33.4	83.5%	-	-	△	△	-	→	目標達成に向け、健診結果説明時に特定保健指導啓発チラシの配布の実施および特定保健指導受託医療機関の増加を図ることで実施率の向上を図っていく。 なお、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、面接の中止や実施方法を縮小しており、実施率の低下が予想される。
23	重点	地域保健課	市内飲食店等における健康的な食事提供による食環境の整備	市民の健康づくり支援に取り組む飲食店等店舗数	店舗	80	80	85	65	81.3%	59	73.8%	80	94.1%	△	△	○	↗	令和2年11月より船橋市独自制度である食環境整備事業「ふなばしMOREベン協力店」推進事業」を立ち上げ、市民の野菜摂取量増加につながる取り組みを行う飲食店、弁当店、惣菜店、八百屋及び直売所等を登録し、旬の野菜や船橋産の農産物が摂取しやすい環境整備を推進するため登録店舗数の増加を図った。	
24	重点	地域保健課	栄養相談の充実	栄養相談者数	人	700	710	720	897	128.1%	768	108.2%	66	9.2%	◎	◎	▲	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、相談事業の中止・縮小を行ったため相談者数が大幅に減少。保健センターでの窓口栄養相談は随時受付し、相談対応を行った。	
25	重点	地域保健課	成人期の歯科健康診査の実施	成人歯科健康診査受診率	%	9	9	9	7	77.8%	7	76.7%	7	75.6%	△	△	△	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、通常5月1日から事業を開始するところ2か月遅らせて7月1日から開始、受診期間を2月末まで延長、当初受診控えがあったもののほぼ例年とおりの受診率となった。	
26	健康づくりへの支援		健康づくり課	後期高齢者健康診査	後期高齢者健康診査受診率	%	53.4	54.4	55.4	48.7	91.2%	47.5	87.3%	-	-	○	△	-	→	目標達成に向け、健診未受診者の受診の切っ掛けとなるよう人間ドック及び脳ドック費用助成により受診率の向上を図っていく。 なお、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通年で健診事業を実施することができなかった。

介護予防の推進で“健康寿命日本一のまち”

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
 △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
 ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

第8期以降の方向性については
 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

通番号	施策群	重点項目	所管課	施策名	指標	【第7期】計画目標値			【第7期】実績						【第7期】達成率			【第7期】評価				
						平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	達成率 (実績/目標値)	令和元年度	達成率 (実績/目標値)	令和2年度	達成率 (実績/目標値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期以降 の方向性	第7期における 取り組み・検討課題などの 評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入			
27			高齢者福祉課	高齢者健やか活動支援事業	開催回数	回	6	6	6	3	50.0%	4	66.7%	0	0.0%	△	△	▲	→	市内老人クラブへの案内配布や老人クラブ連合会理事会等での周知協力依頼を図る。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時事業を中止したため実績に影響している。		
					延参加人数	人	300	300	300	91	30.3%	235	78.3%	0	0.0%	▲	△	▲	→	市内老人クラブへの案内配布や老人クラブ連合会理事会等での周知協力依頼を図る。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時事業を中止したため実績に影響している。		
28			地域保健課	健康教育	健康教育開催回数	回	520	520	520	565	108.7%	529	101.7%	28	5.4%	◎	◎	▲	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、教育事業の中止・縮小を図った。緊急事態宣言解除後の11～12月については感染症予防対策を講じ、運動教室および地区健康教育を実施することができた。事業およびイベントの中止により、健康教育回数が激減した。		
					延参加者数	人	14,790	14,790	14,790	14,022	94.8%	14,104	95.4%	417	2.8%	○	○	▲	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、教育事業の中止・縮小を図った。緊急事態宣言解除後の11～12月については感染症予防対策を講じ、運動教室および地区健康教育を実施することができた。事業およびイベントの中止により、健康教育参加者数が激減した。		
29			地域保健課	健康相談	健康相談開催回数	回	690	690	590	653	94.6%	595	86.2%	139	23.6%	○	△	▲	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、相談事業の中止・縮小を図ったことから相談回数が激減。保健センターでの窓口健康相談は随時受付し、相談対応を行った。		
					延利用者数	人	12,420	12,420	11,020	11,331	91.2%	9,780	78.7%	196	1.8%	○	△	▲	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、相談事業の中止・縮小を図ったことから相談者数が激減。保健センターでの窓口健康相談は随時受付し、相談対応を行った。		
30			地域包括ケア推進課	在宅介護支援教室	開催回数	回	80	65	65	80	100.0%	57	87.7%	5	7.7%	◎	△	▲	→	引き続き、介護予防の推進及び在宅介護支援の充実、センターの周知を図るため、教室を実施していく。		
31	重点		地域包括ケア推進課	介護予防ケアマネジメントにおける自立支援効果の向上	事業評価・検討会議開催回数	回	5	12	12	5	100.0%	11	91.7%	7	58.3%	◎	○	△	↘	令和元年度より新たに自立支援型介護予防ケアマネジメント事業を試行的に実施した。令和2年度に市全域を対象に拡大実施した。但し、新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため事業を一時中止し、その後も社会情勢に合わせ開催を行ったため、当初の予定件数を下回っている。		
					ケアマネジャー等向け研修会開催回数	回	2	3	3	2	100.0%	2	66.7%	0	0.0%	◎	△	▲	×	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度はケアマネジャー、サービス提供事業所、リハビリテーション専門職向けの研修を開催できなかった。		
					市民向け講演会開催回数	回	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	講演会の形式ではなく、介護予防ケアマネジメントを通じて対象者に直接、自立支援の意識や取組みを普及啓発を図っている。
					事業実施圏域数	圏域	-	2 (試行的実施)	市内全圏域	-	-	2	100.0%	市内全域	-	-	◎	◎	↗	令和3年度は引き続き市内全域を対象に事業化を図っていく。		
32	介護予防の推進		社会教育課	ふなばし市民大学校「いきいき学部」	実学生数	人	430	430	370	374	87.0%	355	82.6%	0	0.0%	△	△	▲	→	令和2年度は学科の再編があったため、いきいき学部の定員は370名となり、367名(99.19%)が入学予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により休校となり、事業は実施しないこととなった。		
					延講座数	件	400	400	340	447	111.8%	437	109.3%	0	0.0%	◎	◎	▲	→	令和2年度は学科の再編があったため、いきいき学部の定員は370名となり、367名(99.19%)が入学予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により休校となり、事業は実施しないこととなった。		
					高齢者学級数	学級	26	26	26	26	100.0%	26	100.0%	14	53.8%	◎	◎	△	→	新型コロナウイルスの影響で事業実施が困難になった令和2年度を除き、目標値を達成することができた。学習機会の提供は十分行うことができたと考えられる。		

介護予防の推進で“健康寿命日本一のまち”

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
 △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
 ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

第8期以降の方向性については
 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

通番号	施策群	重点項目	所管課	施策名	指標		【第7期】計画目標値			【第7期】実績						【第7期】達成率			【第7期】評価	
							平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	達成率 (実績/目標値)	令和元年度	達成率 (実績/目標値)	令和2年度	達成率 (実績/目標値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期以降 の方向性	第7期における 取組み・検討課題などの 評価を記入 ※目標値を変更した場合は、 その理由と算出根拠を記入
33			社会教育課	公民館の高齢者対象講座	高齢者対象講座数	講座	58	60	62	63	108.6%	68	113.3%	37	59.7%	◎	◎	△	→	新型コロナウイルスの影響で事業実施が困難になった令和2年度を除き、目標値を達成することができた。学習機会の提供は十分行うことができたと考えられる。
					高齢者学級の実参加者数	人	3,900	3,900	3,900	3,575	91.7%	3,439	88.2%	746	19.1%	○	△	▲	→	計画目標値に対して3年度を通して100%を達成することができなかったが、引き続き各館で事業を継続して学習機会の提供を図っていく。
					高齢者対象講座の実参加者数	人	5,220	5,400	5,580	4,914	94.1%	4,934	91.4%	1,120	20.1%	○	○	▲	→	計画目標値に対して3年度を通して100%を達成することができなかったが、引き続き各館で事業を継続して学習機会の提供を図っていく。
34			地域福祉課	活動拠点整備事業	拠点での事業実施回数	回	1,621	1,681	1,681	1,550	95.6%	1,492	88.8%	450	26.8%	○	△	▲	→	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地区社協の集まつの事業開催を4月11日から10月末まで、12月23日から3月末まで休止していたが、活動拠点では、地域の方の悩み事や生活に関する相談受付を随時行っており、地域の方が孤立化しないよう、感染拡大防止に配慮しながら活動した。

助け合い活動などの支援体制づくりの推進

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
 △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
 ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

第8期以降の方向性については
 「ノ 拡大」「一 現状維持」「ハ 縮小」「× 廃止」

通番号	施策群	重点項目	所管課	施策名	指標		【第7期】計画目標値			【第7期】実績						【第7期】達成率			【第7期】評価	
							平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	達成率 (実績/目標値)	令和元年度	達成率 (実績/目標値)	令和2年度	達成率 (実績/目標値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期以降 の方向性	第7期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入
35	重点	高齢者福祉課	生活・介護支援サポーターの確保	サポーター養成講座開催回数	回	2	2	2	2	100.0%	2	100.0%	0	0.0%	◎	◎	▲	→	引き続き生活・介護支援サポーター養成講座を実施し、質の高い生活支援ボランティアの育成を図る。なお、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により開催できなかった。	
				サポーター登録人数	人	395	417	443	380	96.2%	362	86.8%	303	68.4%	○	△	△	→	引き続き生活・介護支援サポーター養成講座を実施し、質の高い生活支援ボランティアの育成を図る。広報ふなばしなどで広く参加者を募集する。	
				登録者数(高齢者宅)	人	460	472	484	539	117.2%	564	119.5%	563	116.3%	◎	◎	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
36	重点	地域福祉課	人材確保・ボランティアの掘り起こし	たすけあいの会	団体	49	54	60	51	104.1%	55	101.9%	55	91.7%	◎	◎	○	→	従前より生活支援コーディネーターが立ち上げ支援を行っていた団体が1団体立ち上がったものの、1団体が解散したため、数としては昨年度と同じ55団体となっている。今後も、地域の実情により添って生活支援コーディネーターが充足支援を行えるよう支援を行っていく。なお、今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、周知啓発に関して思うように活動ができていない。	
				ボランティア数	人	2,515	2,715	2,915	2,339	93.0%	2,378	87.6%	2,378	81.6%	○	△	△	→	ボランティアの担い手が不足している中、生活支援コーディネーターを通じて声掛け等を行いボランティア確保につなげ、参加者が増えるよう活動を行う。ボランティアの活動など未経験者でもわかるような掲示・声掛けを行っていく。なお、今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、現在声掛け等できない状況にあり、併せてボランティア活動ができない状況で、ボランティア離れも発生している。	
37	重点	高齢者福祉課	軽度生活援助員の派遣	実利用会員数	人	695	714	731	637	91.7%	576	80.7%	446	61.0%	○	△	△	→	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に「軽度生活援助員」を派遣することにより、日常生活を支援する。	
				派遣時間数	時間	20,781	21,349	21,857	18,848	90.7%	16,941	79.4%	13,675	62.6%	○	△	△	→	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に「軽度生活援助員」を派遣することにより、日常生活を支援する。	
38	重点	高齢者福祉課	ファミリー・サポート・センター	実利用会員数	人	618	638	657	669	108.3%	690	108.2%	716	109.0%	◎	◎	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
				実協力会員数	人	188	188	188	195	103.7%	178	94.7%	176	93.6%	◎	○	○	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
				利用件数	件	4,202	4,338	4,468	3,096	73.7%	3,070	70.8%	2,023	45.3%	△	△	▲	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
39	生活支援サービスの提供	高齢者福祉課	高齢者等食の自立支援事業	配食サービス延配食数	食	11,384	11,689	11,995	11,108	97.6%	11,571	99.0%	13,466	112.3%	○	○	◎	→	老人福祉センター・公民館へのパンフレット配架など周知に努め、引き続き事業を継続する。市内全域を宅配できる業者がなく、現在2社のみ。協力業者を増やすことが課題。	
				配食サービス登録者数	人	149	153	157	181	121.5%	157	102.6%	177	112.7%	◎	◎	◎	→	老人福祉センター・公民館へのパンフレット配架など周知に努め、引き続き事業を継続する。市内全域を宅配できる業者がなく、現在2社のみ。協力業者を増やすことが課題。	
				栄養管理サービス訪問回数	回	755	777	792	642	85.0%	758	97.6%	745	94.1%	△	○	○	→	老人福祉センター・公民館へのパンフレット配架など周知に努め、引き続き事業を継続する。	
				栄養管理サービス利用者数	人	102	105	107	117	114.7%	101	96.2%	111	103.7%	◎	○	◎	→	老人福祉センター・公民館へのパンフレット配架など周知に努め、引き続き事業を継続する。	
40	重点	高齢者福祉課	寝具乾燥消毒サービス	実利用人数	人	177	190	202	176	99.4%	158	83.2%	158	78.2%	○	△	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
				延派遣回数	回	1,522	1,634	1,737	1,457	95.7%	1,402	85.8%	1,362	78.4%	○	△	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
41	重点	高齢者福祉課	杖の支給	支給本数	本	437	441	443	575	131.6%	605	137.2%	571	128.9%	◎	◎	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	

助け合い活動などの支援体制づくりの推進

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
 △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
 ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

第8期以降の方向性については
 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

通番号	施策群	重点項目	所管課	施策名	指標		【第7期】計画目標値			【第7期】実績						【第7期】達成率			【第7期】評価		
							平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	達成率 (実績/目標値)	令和元年度	達成率 (実績/目標値)	令和2年度	達成率 (実績/目標値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期以降 の方向性	第7期における 取組み・検討課題などの 評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入	
42			高齢者福祉課	日常生活用具の給付・貸与	自動消火装置給付数	件	16	16	17	19	118.8%	23	143.8%	18	105.9%	◎	◎	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
					電磁調理器給付数	件	43	44	45	58	134.9%	68	154.5%	56	124.4%	◎	◎	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
					シルバーカー給付数	件	90	91	92	128	142.2%	152	167.0%	121	131.5%	◎	◎	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
43			高齢者福祉課	補聴器購入費用助成事業	件数	件	81	88	95	83	102.5%	104	118.2%	78	82.1%	◎	◎	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
44			高齢者福祉課	介護用品の支給等	実支給人数	人	2,232	2,308	2,381	2,477	111.0%	2,646	114.6%	2,849	119.7%	◎	◎	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
45			高齢者福祉課	訪問理美容サービス	実利用者数	人	28	30	32	30	107.1%	26	86.7%	31	96.9%	◎	△	○	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
					延訪問回数	回	69	74	79	65	94.2%	57	77.0%	72	91.1%	○	△	○	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
46			高齢者福祉課	緊急一時支援事業	延派遣回数	回	36	37	38	21	58.3%	18	48.6%	18	47.4%	△	▲	▲	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
47			高齢者福祉課	家族介護慰労金の支給	延支給人数	人	3	3	3	4	133.3%	5	166.7%	3	100.0%	◎	◎	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	
48			資源循環課	ふれあい収集事業	対象世帯数	世帯	240	240	300	163	67.9%	214	89.2%	253	84.3%	△	△	△	→	市民及び関係団体に対するふれあい収集事業の更なる周知を図り、対象世帯の増加に対応できるよう収集体制を整備していく。また、庁内関係所属との連携及び情報共有を引き続き行っていくとともに、業務の一部委託の可能性についても検討を進めていく。	
49	重点	地域包括ケア推進課	地域ケア会議の充実・地域課題への取り組み	講演会開催回数	回	回	9	12	15	10	111.1%	11	91.7%	0	0.0%	◎	○	▲	↗	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会の開催を全て中止とした。令和3年度以降は、同感染症の状況を注視しながら、講演会の開催について検討していく。	
50			地域福祉課	ミニデイサービス事業補助金交付事業	実施回数	回	回	672	696	720	695	103.4%	672	96.6%	224	31.1%	◎	○	▲	→	令和2年度は新型コロナウイルスの影響で4月11日から10月末まで、12月23日から3月末まで通常の事業開催を休止している。 なお、その間も利用者へのケアとして、自宅で行える作業(手作り工作キット、脳トレパズル等)や自宅でできる体操のチラシ等を送付し、利用者に対し地域で見守っていることやなにか心配事があれば相談してほしい旨のチラシを同封し、孤立しないよう努めた。
51	地域での支え合い体制の確立		地域福祉課	ふれあいいきいきサロン事業補助金事業	実施回数	回	回	667	667	667	741	111.1%	628	94.2%	88	13.2%	◎	○	▲	→	令和2年度は新型コロナウイルスの影響で4月11日から10月末まで、12月23日から3月末まで通常の事業開催を休止している。 なお、その間も利用者へのケアとして、自宅で行える作業(手作り工作キット、脳トレパズル等)や自宅でできる体操のチラシ等を送付し、利用者に対し地域で見守っていることやなにか心配事があれば相談してほしい旨のチラシを同封し、孤立しないよう努めた。
52			地域福祉課	保健と福祉の総合相談窓口事業	延相談件数	件	件	14,750	16,000	16,000	12,525	84.9%	18,962	118.5%	22,671	141.7%	△	◎	◎	→	延べ相談件数は増加傾向にあり、効果的な支援を行うことができた。新型コロナウイルス流行の影響で、生活困窮者からの相談が増加している。
53			高齢者福祉課	ひとり暮らし高齢者等見守り活動支援事業	見守り対象高齢者数	人	人	2,887	3,025	3,179	3,010	104.3%	3,002	99.2%	2,110	66.4%	◎	○	△	→	福祉ガイドや自治会へのリーフレット送付等で周知を行った。
					補助金交付団体数	団体	団体	41	43	46	43	104.9%	44	102.3%	31	67.4%	◎	◎	△	→	福祉ガイドや自治会へのリーフレット送付等で周知を行った。

助け合い活動などの支援体制づくりの推進

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
 △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
 ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

第8期以降の方向性については
 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

通番号	施策群	重点項目	所管課	施策名	指標	【第7期】計画目標値			【第7期】実績						【第7期】達成率			【第7期】評価		
						平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	達成率 (実績/目標値)	令和元年度	達成率 (実績/目標値)	令和2年度	達成率 (実績/目標値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期以降 の方向性	第7期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入	
54	移動支援	重点	道路計画課	高齢者支援協力バスの活用	利用登録者数	人	6,450	6,700	6,950	6,632	102.8%	7,245	108.1%	7,417	106.7%	◎	◎	◎	↗	[取組み]地元要望、利用状況を基に利用者ニーズに合ったルートを設定を行い、引き続きバスカード登録者数の増加を図る。
					延利用者数	人	21,500	22,000	22,500	22,991	106.9%	23,586	107.2%	9,265	41.2%	◎	◎	▲	→	[取組み]コロナ禍により令和2年度利用者は大幅に減少した。 地元要望、利用者累計をもとに、利用者のニーズに合ったルートを設定し、引き続き利用者数の増加を図る。
55	移動支援	重点	道路計画課	駅改札内外のバリアフリー化	整備実施駅数	駅	1	2	0	1	100.0%	1	50.0%	1	-	◎	△	-	→	[取組み]各鉄道事業者と綿密にヒアリングし、優先度の高い駅からバリアフリー施設の整備を継続して進める。
56		重点	道路計画課 道路建設課	バス待ち環境の改善(バス上屋・ベンチ設置)	停留所施設整備数	か所	国・県道 2 市道 2	国・県道 6 市道 14	国・県道 1 市道 1	国・県道 1 市道 14 PFI 2	425.0%	国・県道 0 市道 1	5.0%	国・県道 1 市道 2	150.0%	◎	▲	◎	→	[取組み]①国・県道(バス事業者へ補助金を交付)バス待ち環境の速やかな改善のため、引き続き整備を推進する。 ②市道(市施行)バス待ち環境の速やかな改善のため、引き続き整備を推進する。 ③広告付きバス停留所(PFI)広告会社が、国・県道・市道に存するバス停の上屋・ベンチ等の整備・維持・管理を継続して行っていく。
57	移動支援	重点	高齢者福祉課	高齢者福祉タクシー	延交付者数	人	8,312	8,892	9,499	8,916	107.3%	9,339	105.0%	8,615	90.7%	◎	◎	○	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。
					延利用枚数	枚	58,169	62,228	66,475	61,310	105.4%	59,631	95.8%	52,102	78.4%	◎	○	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。
58	その他	重点	消費生活センター	高齢者を狙った犯罪・消費者被害への対策	出前講座	回	32	32	7	20	62.5%	13	40.6%	2	28.6%	△	▲	▲	→	令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により、講座を実施することが困難な状態であった。
					消費者講座	回	10	10	6	10	100.0%	9	90.0%	5	83.3%	◎	○	△	→	令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により講座の開催が難しい状況ではあったが、動画配信への切り替えにより実施回数の確保が出来た。
					消費者月間記念講演会	回	1	1	1	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	◎	◎	▲	→	令和2年度については新型コロナウイルスの影響により中止。動画配信等への切り替えを検討する。
					民生委員等研修会	回	10	10	10	10	100.0%	10	100.0%	3	30.0%	◎	◎	▲	→	新型コロナウイルスの影響により介護支援事業者向けの研修のみ実施。 参加者が増えるよう周知方法や呼びかけを工夫するよう取り組む。
					消費生活モニター事業	回	9	9	9	8	88.9%	9	100.0%	0	0.0%	△	◎	▲	→	令和2年度は募集人数の変更等様々な見直しを図ったが、新型コロナウイルスの影響により、事業の中止。
					生き活き展の開催	回	1	1	1	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	◎	◎	▲	→	令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により中止。
					暮らしの情報の発行	回	3	3	3	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%	◎	◎	◎	→	リアルタイムの情報を提供し、内容を充実させる。
					老人福祉センター定期出張相談・啓発	回	56	56	24	56	100.0%	56	100.0%	0	0.0%	◎	◎	▲	→	令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により中止。
					消費者安全確保地域協議会	回	1	1	1	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	◎	◎	◎	→	前年度の内容を精査し、充実した協議会となるよう取り組む。
59	重点	地域包括ケア推進課	高齢者虐待防止の体制	運営委員会開催回数	回	2	2	2	2	100.0%	2	100.0%	1	50.0%	◎	◎	△	→	引き続き高齢者虐待防止と権利擁護の推進のために実施していく。	
				担当者会議開催回数	回	12	12	12	12	100.0%	11	91.7%	2	16.7%	◎	○	▲	→	引き続き高齢者虐待防止と権利擁護の推進のために実施していく。なお、臨時会として18回個別会議を行っている。	
60	重点	地域包括ケア推進課	高齢者虐待防止の周知と啓発	虐待に係る相談件数	件	1,580	2,070	2,080	2,341	148.2%	3,130	151.2%	4,726	227.2%	◎	◎	◎	→	引き続き高齢者虐待防止と権利擁護の推進のために実施していく。	
61	重点	高齢者福祉課	成年後見制度利用支援事業	後見人報酬助成件数	件	76	81	87	83	109.2%	85	104.9%	88	101.1%	◎	◎	◎	→	引き続き、成年後見制度普及事業の推進のために実施していく。	
62	重点	地域包括ケア推進課	成年後見制度普及事業	開催回数	回	2	2	2	2	100.0%	2	100.0%	0	0.0%	◎	◎	▲	→	引き続き、成年後見制度普及事業の推進のために実施していく。	
				参加者数	人	300	300	300	95	31.7%	70	23.3%	0	0.0%	▲	▲	▲	→	引き続き、成年後見制度普及事業の推進のために実施していく。	

いつでも安心して必要な介護サービスを利用できる体制の確立

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
 △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
 ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

第8期以降の方向性については
 「△ 拡大」「→ 現状維持」「▽ 縮小」「× 廃止」

通番号	施策群	重点項目	所管課	施策名	指標	【第7期】計画目標値			【第7期】実績						【第7期】達成率			【第7期】評価		
						平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	達成率 (実績/目標値)	令和元年度	達成率 (実績/目標値)	令和2年度	達成率 (実績/目標値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期以降 の方向性	第7期における 取り組み・検討課題などの 評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入	
63	介護サービスの質の確保	重点	介護保険課	介護人材の確保	市内事業所実就業者数	人	140	140	140	198	141.4%	193	137.9%	163	116.4%	◎	◎	◎	↗	引き続き、市内の実態を把握しながら、「参入促進」、労働環境・処遇の改善による「量的確保」及び資質の向上による「質的確保」のための施策を展開していく。 ・初任者、実務者研修助成件数161人 ・合同就職説明会を通じた就労者0人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止 ・EPA候補者生受け入れ人数1人 ・介護に関する入門的研修受講後就労者1人 ※入門的研修修了後の就労状況調査の間1にて、「1 介護職員として就労した。または就労する予定である。」と回答した人の人数。
64		重点	介護保険課	認知症訪問支援サービス(市町村特別給付)の拡充	延利用件数	件	405	416	426	391	96.5%	326	78.4%	245	57.5%	○	△	△	→	居宅介護支援事業所、地域包括支援センターや訪問介護事業所に利用案内を通知したほか、集団指導の資料への掲載、広報ふなばしへの掲載、給付通知のお知らせ欄にも掲載する等、周知に努めた。第8期以降も引き続き制度の周知に努め、利用の促進を図っていく。なお、令和2年度については新型コロナウイルス感染症の拡大が実績に影響していると考えられる。
65		重点	介護保険課	介護保険訪問看護職員雇用促進事業の実施	補助対象常勤換算数	人	585	585	585	626.4	107.1%	732.2	125.2%	966.5	165.2%	◎	◎	◎	→	必要に応じて事業の見直しを行い、引き続き、補助を行っていく。
66		高齢者福祉課	重点	介護相談員派遣事業	介護相談員延派遣件数	件	996	1,068	1,140	958	96.2%	894	83.7%	0	0.0%	○	△	▲	↘	平成30年度に中核市照会を実施した結果、本市は他中核市と比較して、施設への派遣回数・予算等が多いことがわかった。また、「過去に介護相談員派遣事業を実施していたが廃止した」と回答した市が3市あり、その廃止理由として、「苦情が発生した際には、指導監査課による実地指導や市や国保連合会への申立等、受付体制が整ったため」「相談員には事業所に対する指導・監督権限がないこと、県から施設の監督等の事務が移譲されたため。類似する事業や代替事業が創設されたため。」等が挙げられた。 利用者やその家族の相談や要望・苦情などを施設へ橋渡しする介護相談員の役割とは異なるが、本事業開始時にはなかった指導監査課が果たす役割は大きく、令和2年度から特養・老健への派遣回数を月1回に減らした。新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度末より派遣を中止しているため、令和2年度実績に影響している。
							派遣施設数	か所	47	50	53	48	102.1%	47	94.0%	46	86.8%	◎	○	△
67		高齢者福祉課	生活・介護支援サポーター事業	登録施設数	か所	8	8	9	10	125.0%	10	125.0%	10	111.1%	◎	◎	◎	→	引き続き「生活・介護支援サポーター」を施設に派遣し、介護事業者の業務を補助することにより、介護サービスの質の向上を側面から支援する。	
68		重点	地域包括ケア推進課	在宅介護支援センターから地域包括支援センターへの移行	地域包括支援センター設置数	か所	10	13	13	10	100.0%	13	100.0%	13	100.0%	◎	◎	◎	→	高齢者人口の増加に対応し、新たに地域包括支援センターを3か所設置した。また、引き続き相談窓口としての周知を図り、認知度や浸透度を高めていく。
					地域包括支援センター相談件数	件	37,200	48,800	49,100	42,022	113.0%	51,854	106.3%	65,249	132.9%	◎	◎	◎	→	高齢者人口の増加に対応し、新たに地域包括支援センターを3か所設置した。また、引き続き相談窓口としての周知を図り、認知度や浸透度を高めていく。
					在宅介護支援センター相談件数	件	21,200	18,100	18,200	19,070	90.0%	14,421	79.7%	15,568	85.5%	△	△	△	→	高齢者人口の増加に対応し、新たに地域包括支援センターを3か所設置した。また、引き続き相談窓口としての周知を図り、認知度や浸透度を高めていく。
69		重点	地域包括ケア推進課	地域ケア会議の充実・地域課題への取り組み【再掲】	講演会開催回数	回	9	12	15	10	111.1%	11	91.7%	0	0.0%	◎	○	▲	↗	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会の開催を全て中止とした。令和3年度以降は、同感染症の状況を注視しながら、講演会の開催について検討していく。
70	地域包括ケア推進課	実態把握	実態把握件数	件	980	830	840	1,132	115.5%	1,053	126.9%	1,094	130.2%	◎	◎	◎	→	高齢者人口の増加に対応し、新たに地域包括支援センターを3か所設置した。また、引き続き相談窓口としての周知を図り、認知度や浸透度を高めていく。		
71	地域包括支援センターの機能強化	地域包括ケア推進課	相談協力員研修会	参加者数	人	300	300	300	249	83.0%	256	85.3%	0	0.0%	△	△	▲	→	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会の開催を全て中止とした。令和3年度以降は、同感染症の状況を注視しながら、講演会の開催について検討していく。	
				研修会開催数	回	1	1	1	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	◎	◎	▲	→	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会の開催を全て中止とした。令和3年度以降は、同感染症の状況を注視しながら、講演会の開催について検討していく。	

いつでも安心して必要な介護サービスを利用できる体制の確立

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
 △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
 ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

第8期以降の方向性については
 「△ 拡大」「→ 現状維持」「▽ 縮小」「× 廃止」

通番号	施策群	重点項目	所管課	施策名	指標	【第7期】計画目標値			【第7期】実績						【第7期】達成率			【第7期】評価		
						平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	達成率 (実績/目標値)	令和元年度	達成率 (実績/目標値)	令和2年度	達成率 (実績/目標値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期以降 の方向性	第7期における 取組み・検討課題などの 評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入	
72			地域包括ケア推進課	介護支援専門員研修事業	介護支援専門員研修会延参加者数	人	600	600	200	619	103.2%	546	91.0%	95	47.5%	◎	○	▲	→	引き続き、介護支援専門員に求められる知識や支援技術の取得のため、研修会を開催する。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参加人数を縮小し開催した。
					介護支援専門員研修会開催数	回	3	3	1	3	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	◎	◎	◎	→	引き続き、介護支援専門員に求められる知識や支援技術の取得のため、計画開催数の研修会を開催する。
					主任介護支援専門員研修会実参加者数	人	100	100	100	86	86.0%	102	102.0%	88	88.0%	△	◎	△	→	引き続き、主任介護支援専門員に求められる知識や支援技術の取得のため、研修会を開催する。
					主任介護支援専門員研修会開催数	回	1	1	1	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	◎	◎	◎	→	引き続き、主任介護支援専門員に求められる知識や支援技術の取得のため、計画開催数の研修会を開催する。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参加人数を縮小し開催した。
73		重点	地域包括ケア推進課	認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員の設置	認知症初期集中支援チーム	チーム	5	5	5	5	100.0%	5	100.0%	5	100.0%	◎	◎	◎	→	引き続き認知症が疑われる方への初期支援を実施していく。
					認知症地域支援推進員	名	20	23	23	26	130.0%	32	139.1%	31	134.8%	◎	◎	◎	→	引き続き、認知症地域支援推進員を中心に、各地域に認知症施策推進の働きかけを行っていく。
74		重点	地域包括ケア推進課	本人や家族の交流の場や、本人の社会参加や生きがいにつながる場の創出	認知症カフェPR事業登録件数	件	29	44	59	27	93.1%	35	79.5%	35	59.3%	○	△	△	→	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、認知症カフェの開催、交流会の実施を見合わせた。令和3年度は感染状況を鑑みながら、活動再開に向けて調整していく。
					認知症カフェ運営補助金交付件数	件	10	10	10	4	40.0%	6	60.0%	2	20.0%	▲	△	▲	→	認知症カフェ運営補助金交付制度について、現在は1年度に限り1団体10万円を限度に補助金を支給しているが、毎年補助金が支給されると運営しやすいと意見が寄せられている。今期計画中は現行の補助金交付制度を継続していき、次期計画では今後更に新たな認知症カフェの立ち上げや、継続運営に繋がるような支援体制への見直しを行う予定。(なお、令和2年度の目標値については、前回までの照会で10件に修正した。)
					認知症カフェ交流会開催回数	回	2	1	1	2	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	◎	◎	▲	→	平成29年度から交流会を実施し、最近では令和2年1月に33名が参加した。参加者にアンケートを実施したところ、全体を通じて参考になった・やや参考になったとの回答が9割以上であった。しかし、市内でカフェを開設している団体がすべて参加しているわけではないため、認知症カフェを開設している方や、認知症カフェの開設を考えている方への情報提供と情報交換、継続支援のために、交流会の開催時期や、周知の仕方の見直しを行う予定。(なお、令和2年度の目標値については、前回までの照会で1回に修正した。)
75		重点	地域包括ケア推進課	認知症の人や家族を地域で見守り、支え合う体制の構築	徘徊模擬訓練実施地区数(新規開催分)	地区	5	5	3 ※24地区全ての訓練を実施	5	100.0%	7	140.0%	0	0.0%	◎	◎	▲	→	引き続き、認知症への理解を深めるとともに認知症高齢者本人の気持ちに配慮した声かけを学び、地域で認知症の人を支えていくために訓練を実施する。
					メモリーウォーク開催回数	回	1	1	0	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	◎	◎	▲	→	引き続き、市民や社会に対して、認知症に対する理解を深めるために啓発活動を続けていく。なお、前回の照会時に令和2年度のメモリーウォーク開催回数については、当初より東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、ふなばし市民まつりの開催が予定されていなかったことから、0回を目標値として設定した。
76		重点	高齢者福祉課	やすらぎ支援員訪問事業の制度周知	登録者数	人	76	81	86	81	106.6%	85	104.9%	93	108.1%	◎	◎	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。
77	認知症対策の推進		地域包括ケア推進課	認知症についての地域住民及び支援関係者への広報・啓発活動	認知症サポーター受講者数	人	9,000	9,000	9,000	9,277	103.1%	9,153	101.7%	5,206	57.8%	◎	◎	△	→	引き続き、地域住民や高齢者と接する機関等へのリーフレット配布など周知を行い、講座を実施していく。また、市立の全小学校にも引き続き講座を実施し、中学校についても希望があった学校で講座を実施していく。
78			地域包括ケア推進課	認知症高齢者へのサービス提供	地域包括支援センター成年後見相談件数	件	1,230	1,620	1,630	2,127	172.9%	2,762	170.5%	3,455	212.0%	◎	◎	◎	→	引き続き、認知症対策の推進のために実施していく。
					市長申し立て件数	件	23	23	23	43	187.0%	42	182.6%	43	187.0%	◎	◎	◎	→	引き続き、認知症対策の推進のために実施していく。

いつでも安心して必要な介護サービスを利用できる体制の確立

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
 △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
 ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

第8期以降の方向性については
 「△ 拡大」「→ 現状維持」「▽ 縮小」「× 廃止」

通番号	施策群	重点項目	所管課	施策名	指標		【第7期】計画目標値			【第7期】実績						【第7期】達成率			【第7期】評価	
							平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	達成率 (実績/目標値)	令和元年度	達成率 (実績/目標値)	令和2年度	達成率 (実績/目標値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期以降 の方向性	第7期における 取り組み・検討課題などの 評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入
79			地域包括ケア推進課	認知症家族交流会	認知症家族交流会開催数	回	6	6	6	6	100.0%	5	83.3%	1	16.7%	◎	△	▲	→	引き続き、交流会の開催形態及び開催回数は現状を維持し実施する。
					延参加者数	人	115	115	115	76	66.1%	46	40.0%	6	5.2%	△	▲	▲	→	引き続き、交流会の周知に力を入れ、参加者の増加に努めていく。また、開催場所等参加者が集まる工夫を検討していく。
80			地域包括ケア推進課	認知症相談事業	相談件数	件	180	180	92	110	61.1%	97	53.9%	37	40.2%	△	△	▲	×	今期計画の当初では、来所相談を重視して各日常生活圏域で1か所ずつ計5か所にて実施していたが、相談体制を令和2年度より見直し、来所相談については2か所に縮小する一方で、外出できない対象者のための訪問相談を拡充し、市内全域で実施する改善を図った。併せて、認知症施策推進事業である認知症初期集中支援チームの活動との連携を強化する。 目標値92件の内訳 来所相談 3件×2か所×12カ月=72件 訪問相談 10件×医師2名=20件 なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け4月～7月開催分の来所相談は中止となった。 ※来期以降は事業を実施しない
81			健康づくり課	認知症予防教室	実参加人数	人	670	690	710	482	71.9%	498	72.2%	214	30.1%	△	△	▲	→	引き続き、健康スケールの結果通知で教室開催の周知をしたり、シルバーリハビリ体操等の参加者へ教室開催のチラシを配布し、近隣地区で開催される教室を案内し参加者を増やす。
82			高齢者福祉課	SOSネットワーク	依頼件数	件	40	43	47	56	140.0%	27	62.8%	24	51.1%	◎	△	△	→	各種団体の協力・連携で「SOSネットワーク」を組織し、行方不明となった認知症高齢者の早期発見に努める。
83			地域包括ケア推進課	徘徊高齢者家族支援サービス事業	利用人数	人	80	85	90	101	126.3%	117	137.6%	107	118.9%	◎	◎	◎	→	引き続きサービスを提供していく。あわせて徘徊模擬訓練などの施策を行い、高齢者を見守る地域づくりを進める。
84		重点	地域包括ケア推進課	相談窓口の多様化	事業協力施設数	か所	-	151	200	-	-	196	129.8%	192	96.0%	-	◎	○	→	介護保険事業所や薬局等で主に介護予防・介護に関するサービスや適切な対応窓口の情報を提供してもらっている。今後も事業の周知活動を徹底し、協力事業所の増加を図る。
85			介護保険課	介護保険事業の普及啓発	介護保険・高齢者福祉ガイド発行部数	部	35,000	35,000	35,000	35,000	100.0%	35,000	100.0%	35,000	100.0%	◎	◎	◎	→	制度周知のため、引き続き実施していく。
					介護保険のてびき(小冊子)発行部数	部	9,500	9,000	8,500	9,500	100.0%	9,000	100.0%	8,500	100.0%	◎	◎	◎	→	制度周知のため、第8期以降も引き続き実施していく。
					出前講座開催回数	回	20	15	15	4	20.0%	11	73.3%	0	0.0%	▲	△	▲	→	今年度は、新型コロナウイルスの影響で実施できていない状況だが、今後、状況を鑑みつつ、地域住民や関係団体等から要望があった際には実施を検討する。
					出前講座参加人数	人	400	300	300	105	26.3%	287	95.7%	0	0.0%	▲	○	▲	→	今年度は、新型コロナウイルスの影響で実施できていない状況だが、今後、状況を鑑みつつ、地域住民や関係団体等から要望があった際には実施を検討する。
86			介護保険課	介護保険利用者負担助成事業	認定者数	人	150	150	150	132	88.0%	138	92.0%	140	93.3%	△	○	○	→	居宅介護支援事業所や地域包括支援センターに利用案内を通知したほか、集団指導の資料への掲載、広報ふなばしへの掲載、給付費通知のお知らせ欄にも掲載する等、周知に努めた。低所得者の介護サービスの利用を確保するため、第8期以降も引き続き制度の周知に努め、利用の促進を図っていく。

いつでも安心して必要な介護サービスを利用できる体制の確立

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
 △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
 ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

第8期以降の方向性については
 「△ 拡大」「→ 現状維持」「▽ 縮小」「× 廃止」

通番号	施策群	重点項目	所管課	施策名	指標	【第7期】計画目標値			【第7期】実績						【第7期】達成率			【第7期】評価		
						平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	達成率 (実績/目標値)	令和元年度	達成率 (実績/目標値)	令和2年度	達成率 (実績/目標値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期以降 の方向性	第7期における 取り組み・検討課題 などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、 その理由と算出根拠を記入	
87	介護サービスの円滑な利用		介護保険課	介護老人福祉施設利用者負担対策事業	認定者数	人	60	62	64	77	128.3%	82	132.3%	83	129.7%	◎	◎	◎	→	低所得者の介護サービスの利用を確保するため、第8期以降も引続き制度の周知に努め、利用の促進を図っていく。
88			介護保険課	介護給付等費用適正化事業	認定調査結果確認件数	件	7,400	7,500	7,600	6,866	92.8%	5,417	72.2%	1,873	24.6%	○	△	▲	→	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から委託調査件数が減少したため目標件数に達しなかったが、適切かつ公平な介護認定の確保を図るため、今後も継続して認定調査結果の確認を実施する。
					ケアプラン点検事業所数	か所	40	40	40	40	100.0%	38	95.0%	24	60.0%	◎	○	△	→	事業所へ訪問して実施する事業のため、令和2年度については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、当初は中止としていたが、年度途中から文書による実施に変更した。第8期以降も感染拡大状況等を踏まえた方法により引き続き実施していく。
					住宅改修等の現地調査件数	件	60	60	60	60	100.0%	55	91.7%	67	111.7%	◎	○	◎	→	利用者の自宅へ訪問して実施する事業のため、令和2年度については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、当初は中止としていたが、年度途中から文書による実施に変更した。第8期以降も感染拡大状況等を踏まえた方法により引き続き実施していく。
					縦覧点検・医療情報との突合等件数	件	25,000	25,000	25,000	13,706	54.8%	19,271	77.1%	19,795	79.2%	△	△	△	→	国保連合会から提供される突合情報の件数に応じた実施のため結果的に目標件数に達していないが適切に照会を実施することができた。第8期以降も計画的に実施していく。
					介護給付費通知送付数	件	79,500	81,500	83,500	80,923	101.8%	84,493	103.7%	86,368	103.4%	◎	◎	◎	→	目標値達成に向け、第8期以降も目標達成に向けて引き続き実施していく。
89			介護保険課	要介護認定適正化事業	要介護認定適正化研修	回	-	1	-	-	-	0	0.0%	-	-	-	▲	-	→	令和元年度は新型コロナウイルス感染症予防対策で急遽中止となったが、引続き実施していく。隔年開催の為、次回は令和3年度に実施予定。

医療と介護の連携による継続的・一体的なサービス提供体制の確立

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
 △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
 ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

第8期以降の方向性については
 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

通番号	施策群	重点項目	所管課	施策名	指標		【第7期】計画目標値			【第7期】実績						【第7期】達成率			【第7期】評価	
					指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	達成率 (実績/目標値)	令和元年度	達成率 (実績/目標値)	令和2年度	達成率 (実績/目標値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期以降の方向性	第7期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入
90	在宅医療の推進	重点	地域包括ケア推進課	在宅医療・介護関係者の研修(ひまわりネットワーク)	スタートアップ研修開催回数	回	3	3	3	3	100.0%	2	66.7%	0	0.0%	◎	△	▲	→	今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催を見送ったが、今後はオンライン研修の開催も検討する。
					実践研修開催回数	回	2	2	2	3	150.0%	2	100.0%	0	0.0%	◎	◎	▲	→	今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催を見送ったが、今後はオンライン研修の開催も検討する。
					アドバンス研修開催回数	回	2	2	2	3	150.0%	1	50.0%	1	50.0%	◎	△	△	↗	今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、オンラインにて1度開催した。今後も医療・介護従事者向けの研修会を実施していく。
91	在宅医療の推進	重点	地域包括ケア推進課	在宅医療・介護関係者の研修(在宅医療支援拠点ふなぼーと)	在宅医紹介制度登録医療機関数	機関	43	46	49	46	107.0%	47	102.2%	49	100.0%	◎	◎	◎	↗	今年度は医療・介護専門職を対象とした、在宅医ネットワーク研修会をオンラインで1回開催した。引き続き方法を検討し開催するとともに、研修会等を通じて在宅医紹介制度登録医療機関数の増加を図る。
92	在宅医療の推進	重点	地域包括ケア推進課	在宅医療推進に係る市民への普及啓発(在宅医療支援拠点ふなぼーと、在宅医療・介護の講演会・相談会)	市民公開講座開催回数	回	1	1	1	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	◎	▲	▲	→	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、在宅医療支援拠点ふなぼーとの市民公開講座は開催を見送った。在宅医療・介護の講演会・相談会は人数制限をして6回実施した。今後も感染状況を考慮しながら、開催に向けて検討を進めていく。
					在宅医療・介護の講演会・相談会開催回数	回	10	10	10	14	140.0%	13	130.0%	6	60.0%	◎	◎	△	→	
93	在宅医療の推進	重点	地域包括ケア推進課	在宅医療・介護資源の情報の把握・データベース化	「在宅医療・緩和ケア提供機関マップ」に掲載の医療機関数	機関	310	330	350	324	104.5%	342	103.6%	385	110.0%	◎	◎	◎	→	今年度も令和3年版ひまわりマップを作成し、医療・介護関係者に配布した。引き続き研修会等でマップの周知を引き続き行い、認知度の向上に努める。
94	在宅医療の推進	重点	地域包括ケア推進課	医療・介護関係者の情報共有の支援	システム操作体験会開催回数	回	10	10	10	8	80.0%	8	80.0%	8	80.0%	△	△	△	→	小規模ではあるが個別に事業所等に対し使用方法等の説明を行った。カナミックネットワークの利用者数を増加させるため、システム操作説明会を引き続き実施することに加え、ひまわりネットワーク事務局の委員会でも運用について検討を行う。
95	在宅医療の推進	地域包括ケア推進課	在宅医療の推進	訪問診療件数	件	5,709	5,738	5,767	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	→	厚生労働省 医療施設(静態・動態)調査より(29年度数値) 実績 5941件
				在宅医療実施医療施設数	施設	65	69	73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
96	在宅医療の推進	地域包括ケア推進課	在宅医療推進のための連携体制の構築	ひまわりネットワークの症例検討会等の開催回数	回	30	30	30	33	110.0%	18	60.0%	10	33.3%	◎	△	▲	→	①船橋市における在宅医療・介護連携の心得、②人材育成研修体系に沿った研修、③ひまわりポイント、④ひまわりシート、⑤在宅医療・緩和ケアリハビリテーション提供機関マップ等、広く周知するための説明会やチラシの配付などを引き続き行うとともに、多職種団体等に赴き説明を実施する。また人材を育成するための研修会を適宜開催するなどし、船橋市における在宅医療・介護連携の促進につなげる。	

医療と介護の連携による継続的・一体的なサービス提供体制の確立

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま基本方針に則り、計画を進めていく(計画目標値に対する達成率が90%以上100%未満)
 △ …達成率が計画目標値に達していない(50%以上90%未満)ものがあり、次年度以降さらに計画の推進が必要
 ▲ …達成率が計画目標値に達していない(50%未満)ものがあり、次年度以降見直しも含めた計画の推進が必要

第8期以降の方向性については
 「△ 拡大」「→ 現状維持」「▽ 縮小」「× 廃止」

通番号	施策群	重点項目	所管課	施策名	指標	【第7期】計画目標値			【第7期】実績						【第7期】達成率			【第7期】評価		
						平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	達成率 (実績/目標値)	令和元年度	達成率 (実績/目標値)	令和2年度	達成率 (実績/目標値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期以降 の方向性	第7期における 取組み・検討課題 などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入	
97	地域医療連携の推進	重点	健康政策課	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局の推進	かかりつけ医を持つ65歳以上の市民の割合	%	54.1	57.0	60.0	-	-	51.9	91.1%	-	-	-	○	-	→	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、イベントや講演会等でチラシを配布し、積極的に普及・啓発を行うとともに、より効果的な周知方法等について、検討していく。 また、国・県等の動向について情報収集に努める。さらに、千葉県「地域医療介護総合確保基金」に係る事業提案において、引き続き、かかりつけ医等推進事業の事業提案を行っていく。 ※実績値の算出根拠となる「高齢者生活実態調査」は3年ごとの調査であり、令和2年度は実施しないため、令和2年度の実績はなし。
98	看護職の確保	重点	健康政策課	看護職の復職支援	就業看護職員数	人	4,539	4,648	4,757	4,574	100.8%	-	-	-	-	-	-	-	→	新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、今後も、看護職復職支援研修会にて潜在看護師の復職支援を行う。 また、看護師等養成修学資金にて市内就職を目指す看護学生に対し月30,000円の貸付を行うことで市内の看護師の充足を目指す。 ※千葉県のデータが平成30年度分までのため、令和元年度、令和2年度の実績は未入力
99		重点	介護保険課	介護保険訪問看護職員雇用促進事業の実施【再掲】	補助対象常勤換算数	人	585	585	585	626.4	107.1%	732.2	125.2%	966.5	165.2%	◎	◎	◎	→	必要に応じて事業の見直しを行い、引き続き、補助を行っていく。
100	地域リハビリテーションの推進	重点	健康政策課	地域リハビリテーションの推進	地域リハビリテーション拠点事業リハビリ関係者向け地区勉強会開催回数	回	3	3	3	3	100.0%	3	100.0%	1	33.3%	◎	◎	▲	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を達成できなかったが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の対策を十分行い、また、オンラインによる方法なども検討しつつ引き続き開催していく。 なお、令和2年度については、代替として、介護職員を対象とした移乗に関する動画配信、ZOOM活用に関する勉強会等を別途Web開催している。
					地域リハビリテーション拠点事業リハビリ関係者向け研究大会開催回数	回	2	2	2	2	100.0%	1	50.0%	0	0.0%	◎	△	▲	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を達成できなかったが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の対策を十分行い、また、オンラインによる方法なども検討しつつ引き続き開催していく。 なお、令和2年度については、代替として、新型コロナクラスター対応勉強会、摂食栄養サポート勉強会等を別途Web開催している。
					地域リハビリテーション拠点事業市民向け講演会開催回数	回	2	2	2	2	100.0%	2	100.0%	1	50.0%	◎	◎	△	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を達成できなかったが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の対策を十分行い、また、オンラインによる方法なども検討しつつ引き続き開催していく。 なお、令和2年度については、代替として、地域リハビリに関する出前講座の動画の配信を行った。
					訪問リハビリ提供施設数	施設	13	14	16	13	100.0%	14	100.0%	14	87.5%	◎	◎	△	→	引き続き、在宅医療の推進のため、訪問リハの提供施設の周知をしていく。
101	歯科口腔保健の推進	重点	健康政策課	訪問歯科診療の充実	訪問歯科診療事業件数(さざんか・かさぐるま)	件	663	706	718	916	138.2%	1,144	162.0%	1,041	145.0%	◎	◎	◎	↗	引き続き普及・啓発を行うとともに、より効果的な周知方法等について、検討していく。 また、令和3年度よりさざんか特殊歯科診療所の診療日数を拡大することで、更なる訪問歯科診療の充実を図る。
102		重点	健康政策課	口腔保健支援事業の実施	口腔ケア講習会・市民講演会開催回数	回	4	4	4	4	100.0%	4	100.0%	3	75.0%	◎	◎	△	→	講師のスケジュールに合わせた開催時期や講演内容等を考慮し、年3回とした。新型コロナウイルス感染症の対策を十分行い、また、オンラインによる方法なども検討しつつ引き続き講演会や実技講習会を通じて、口腔ケアの重要性を周知していく。

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況

【第7期】計画書第2部第2章に記載される事業(数値目標なし)

基本方針	施策群	事業名	上段:令和2年度 of 取組みとそれに対する評価 下段:第7期における取組み・検討課題などの評価や第8期以降の方向性などを記入	所管課
1	住まい	住宅の質の向上 賃貸住宅のバリアフリー改修等の促進	【セーフティネット住宅の登録】(令和3年3月31日現在) 登録棟(戸)数:275棟(約2200戸) ※内家賃低廉化住宅は13戸 介護認定者のために住宅の改造をしようとする世帯を対象に改造資金を助成することにより、住宅のバリアフリー化を推進した。 住宅セーフティネット制度に係る家賃低廉化事業の実施(4月より住宅及び入居者の募集開始) 介護認定の有無や工事箇所により、複数の課での助成が受けられる場合があるなど、申請者に応じたきめ細やかな制度案内が必要。	住宅政策課 高齢者福祉課
2	住まい	住宅の質の向上 高齢化しているマンション管理組合の支援	【マンション管理士等派遣事業】(令和3年3月31日現在) 派遣件数:6件 【マンション管理無料相談】(令和3年3月31日現在) 相談件数:13件 マンション管理無料相談を介さずに、マンション管理士等派遣事業を利用できるよう要綱を改正した。	住宅政策課
3	住まい	多様な住まいの確保 質の高いサービス付き高齢者向け住宅の供給	サービス付き高齢者向け住宅及び有料老人ホームの定員数の合計:2775戸(令和3年3月31日現在) 引き続き、サービス付き高齢者向け住宅の事業者に対し、「船橋市サービス付き高齢者向け住宅の登録に関する指導指針」等による配慮を求めるとともに、入居者が必要とするサービスを地域で受けることが出来るよう、医療・介護サービス事業所との連携を促進し、質の高い高齢者向け住宅の供給を図っていく。	住宅政策課
4	住まい	多様な住まいの確保 空き家等の有効活用	【居住支援協議会】 令和2年6月 居住支援協議会総会実施(書面開催) 令和3年3月 居住支援協議会事例検討会(書面開催) 居住支援協議会事務局(社会福祉協議会)及び住宅政策課で空き家の有効活用に係る打合せを行った。 【セーフティネット住宅の登録】 市ホームページを通じて住宅セーフティネット制度の周知を行った。 ・居住支援協議会の開催(年2回予定) ・引き続き市ホームページを通じて住宅セーフティネット制度の周知を行う。 ・引き続き居住支援協議会と空き家の有効活用に係る打合せを行っていく。	住宅政策課
5	予防	活動の場の提供 既存事業における各種プログラムのメニュー化	市民ヘルスマーケティングにおいて、住民から得られた地域に根差した介護予防活動の情報や、アクティブシニア介護予防補助金申請団体の活動情報等、地域で活用できる介護予防活動を住民に伝える予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため市民ヘルスマーケティングの開催ができなかった。 市民ヘルスマーケティングにおいて各地域の介護予防の課題や地域の特性を生かした介護予防の取り組みを住民同士で共有してきたが令和2年度は実施できなかった。今後は、日々活動の状況は変化することをふまえ、普段から地域で活躍している地区社会福祉協議会、ふなばしシルバーリハビリ体操の指導士等の協力を得て、身近な地域で顔の見えつながりを作ることで、最新の情報から住民の活動の場が広がるようにとり組んでいきたい。	健康づくり課
6	予防	健康づくりへの支援 運動器チェック事業の創出 ⇒足腰の衰えチェック事業	令和2年度は過去2年の実施状況を踏まえ、下記の内容で実施した。市民にとってより参加しやすい環境を整えるとともに、市内事業所に事業紹介のポスターを掲示するなどして周知に努めた。 ①対象地区コミュニティを9地区コミュニティから16地区コミュニティに拡大 ②対象者については令和元年度と同様に、年齢要件に加え、「船橋市健康スケール」にてスクリーニングした運動機能低下者を抽出。 ③実施する事業所に偏在及び不在があった2地区コミュニティにおいては公民館でも実施。 ④対象地区コミュニティ以外では公民館を会場に、広報ふなばしで参加者を募集し「足腰の衰え予防教室」を実施。 事業所数が増加したことで、参加しやすい環境が整いつつあることが推察される。 公民館での実施および「足腰の衰え予防教室」は事業所の偏在や対象外の市民に対する手段として、本事業を補完する役割になったと思われる。 ポスターの掲示等を行ったが、「足腰の衰え」のリスク及び予防の大切さについては未だ十分に浸透していおらず、継続して周知に努める必要がある。 「足腰の衰え」のリスク及び予防の重要性について周知を継続しつつ、引き続き16地区でのモデル事業を実施する。今後は全24地区コミュニティでの実施も検討する。 対象外の市民に向けた「足腰の衰え予防教室」の実施を検討する。	健康づくり課 地域包括ケア推進課
7	予防	介護予防の推進 一般介護予防事業の実施(介護予防教室)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年度当初は開催を中止していたが、感染予防対策を9月より市内の事業所や公民館で、5つのメニュー(①転倒予防型5回・8回コース、②運動・栄養特化型コース、③運動・口腔特化型コース、④認知症予防コース、⑤柔道整復師運動型コース)で介護予防教室を再開した。自粛生活による心身機能の低下防止を意識する市民が多いのか、開催するどのコースも応募者が多い状況で、自粛生活後の介護予防の知識等の普及につながっている。 市内の事業所や公民館で、大きく5つのメニュー(①転倒予防型5回・8回コース、②運動・栄養特化型コース、③運動・口腔特化型コース、④認知症予防コース、⑤柔道整復師運動型コース)に分けて介護予防教室を実施した。市民が教室のプログラム内容をイメージしやすくするために、コース名を変更したことで、教室の具体的なイメージがつかい参加率が上がった。今後は、大きく4つのメニュー(①転倒予防5回・8回コース、②転倒予防・お口の健康づくり5回コース、③転倒予防・脳トレ5回コース、④柔道整復師運動型8回コース)とし、更に教室のイメージをつきやすくし介護予防教室の周知を図る一方で、事業効果を検証し適正なメニュー、教室数、委託料等を総合的に検討していく。	健康づくり課

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況

【第7期】計画書第2部第2章に記載される事業(数値目標なし)

	基本方針	施策群	事業名	上段:令和2年度 of 取組みとそれに対する評価 下段:第7期における取組み・検討課題などの評価や第8期以降の方向性などを記入	所管課
8	生活支援	生活支援サービスの提供	買い物弱者対策	買い物支援について生活支援部会で検討を行い、商工振興課にて移動販売を昨年10月から導入している。生活支援コーディネーターなどから地域の利用者からの意見やお礼等を頂戴することもあるため、適宜商工振興課へ伝えていきたい。利用しやすいという意見と〇〇の地区も来てほしいなどの意見もあり、今後の販売経路の参考としたい。なお、生活支援コーディネーターには各地区での『とくしまる』等の移動販売の情報も入ってきており、利用情報の収集や利用者への情報提供など図れるよう指導していく。 移動販売事業を受け、それ以外でも有用な買い物支援があるのか検討を行っていく。	生活支援部会 (地域福祉課)
9	生活支援	生活支援サービスの提供	ワンコインサービスの周知	案内チラシを公共施設へ設置、就業中の会員による宣伝活動を継続して実施した。 利用実績は前年度95件から今年度91件と約4.2%減の利用となった。 他福祉団体の同様サービスにより充足されていることから、利用者に他サービスへの移行を促し9月末で本サービスを終了予定。	高齢者福祉課
10	生活支援	生活支援サービスの提供	生活支援コーディネーターの活動の活性化	従前よりたすけあいの会立ち上げに向けて生活支援コーディネーターが支援していた団体が1団体立ち上がった。今後も地域の実情に合わせて立ち上げ支援やたすけあいの会の周知活動を行うよう支援していく。なお、令和2度は新型コロナウイルスの影響で立ち上げに向けた周知活動が思うようにできていない。 引き続き、地域での困りごとの把握やボランティア担い手の発掘を進めていく。出前講座なども行うことで地域でボランティア参加に意識を向けてもらえるよう推進していく。	地域福祉課
11	生活支援	地域での支えあい体制の確立	障害者の高齢化・重度化や「親亡き後」を見据えた支援体制の整備	地域生活支援拠点システムにおいて、常時障害者の緊急時の相談・受け入れ対応や、その後の支援等を行っている。また、本システムの稼働状況を定期的に確認するため、拠点運営委員会において自己評価を実施し、船橋市自立支援協議会専門部会である地域移行・福祉サービス部会へ報告を行った。 相談・対応事例を積み上げ、関係機関との連携・情報共有を行う。また、拠点運営委員会により、当該事業にかかる定期的な振り返りを行い、支援体制のさらなる充実を図っていく。	障害福祉課
12	生活支援	地域での支えあい体制の確立	生活保護受給高齢者の見守り体制の強化	新型コロナウイルス感染症の影響により複数回発出された緊急事態宣言発令期間中については、緊急対応等最低限度必要なものを除き訪問を自粛していたが、当該期間中はケースワーカーによる電話での相談支援を定期的に行っていた。緊急事態宣言発令期間外においては、厚生労働省が発出した通知に従い、感染拡大の防止に配慮した上で訪問を再開したが、対象者の状況に応じて電話相談による相談支援も継続して行った。 今後も継続して厚生労働省からの通知や新型コロナウイルス感染症の影響の有無を注視した上で見守り体制を構築していく。継続して訪問・電話等による見守りを行うとともに、親族及び地域との交流を望まない世帯については、民生委員等に協力を依頼するなど総合的な見守り体制の強化を図っていく。また、その他ケースワーカーが必要と判断した場合には民生委員や地域包括支援センターと協力するなどして、総合的な見守り活動を行っていく予定。	生活支援課
13	生活支援	移動支援	高齢ドライバーへの対応	高齢ドライバーを含む移動支援としてバス路線等の整備、交通不便地域支援事業の拡大検討、バス利用促進のための検討を道路部で行っている。 今年度も引き続き移動支援として検討を行っていく。	生活支援部会 (地域福祉課)
14	介護	介護サービスの量の確保	特別養護老人ホームの整備	第7期計画で選定した施設について、新設1施設100床分を竣工、残り2施設190床分について整備を進める。 第7期計画までの施設整備数等を踏まえて、第8期計画での整備数を検討した。 第7期計画で選定した290床のうち残り2施設190床分について、開設に向け整備を進める。 第8期計画の整備方針に基づき、公募により整備協議優先者の選定を行い、整備を進める。	高齢者福祉課
15	介護	介護サービスの量の確保	介護老人保健施設の整備	第7期計画までの施設整備数等を踏まえて、第8期計画での整備数を検討した。 第7期計画の100床分の再公募実施について検討したが、他種施設の公募時期等を踏まえて行わなかった。 第8期計画においては、既存施設の入居率等を勘案し整備数を見込まなかった。	高齢者福祉課
16	介護	介護サービスの量の確保	特定施設の整備	第7期計画で選定した70床について整備を進める。 第7期計画までの施設整備数等を踏まえて、第8期計画での整備数を検討した。 第7期で選定した70床について、開設に向け整備を進める。 第8期計画の整備方針に基づき、公募により整備協議優先者の選定を行い、整備を進める。	高齢者福祉課
17	介護	介護サービスの量の確保	地域密着型サービスの整備(認知症高齢者グループホーム)	第7期計画で選定した18床分を開設、残り18床分について整備を進める。 第7期計画までの施設整備数等を踏まえて、第8期計画での整備数を検討した。 第7期で選定した18床について、開設に向け整備を進める。 第8期計画の整備方針に基づき、公募により整備協議優先者の選定を行い、整備を進める。	高齢者福祉課
18	介護	介護サービスの量の確保	地域密着型サービスの整備(グループホーム以外)	千葉県補助金を活用した、看護小規模多機能型居宅介護事業所の1事業所について整備を進める。 令和3年度計画している事業所について、開設に向け整備を進める。	高齢者福祉課
19	介護	介護サービスの量の確保	施設整備全体	有料老人ホームの事前協議を随時受け付けた。 有料老人ホームの事前協議を随時受け付ける。	高齢者福祉課

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況

【第7期】計画書第2部第2章に記載される事業(数値目標なし)

	基本方針	施策群	事業名	上段:令和2年度の取組みとそれに対する評価 下段:第7期における取組み・検討課題などの評価や第8期以降の方向性などを記入	所管課
20	介護	多様なサービスの提供	生活支援コーディネーターの活動の活性化【再掲】	従前よりたすけあいの会立ち上げに向けて生活支援コーディネーターが支援していた団体が1団体立ち上がった。今後も地域の実情に合わせて立ち上げ支援やたすけあいの会の周知活動を行うよう支援していく。なお、令和2度は新型コロナウイルスの影響で立ち上げに向けた周知活動が思うようにできていない。 引き続き、地域での困りごとの把握やボランティア担い手の発掘を進めていく。出前講座なども行うことで地域でボランティア参加に意識を向けてもらえるよう推進していく。	地域福祉課
21	介護	地域包括支援センターの機能強化	相談支援の充実強化	平日になかなか相談することができない働く世代等が地域包括支援センターに相談しやすい体制の構築に向けて、月2回、土曜・日曜午前中にフェイスビル5階にて「地域包括支援センター出張相談窓口」を試行的に開設し、高齢者の家族等からの相談への対応を行った。 令和3年度においても「地域包括支援センター出張相談窓口」を継続して開設し、その中で土日の相談ニーズがどの程度あるのかを検証し、本市に適したセンターの相談支援体制の検討を行う。	地域包括ケア推進課
22	介護	認知症対策の推進	成年後見制度の利用促進	関係各課と成年後見制度に関する現状の課題を共有しながら、弁護士等の専門職と、中核機関の設置や市町村計画の策定等に関して検討会を行った。 関係性のある地域福祉計画との整合性を図りながら、市町村計画の策定や中核機関の設置等について、高齢者の権利擁護事業の担当として、庁内関係各課と弁護士等の専門職で協議・検討を行っていく。	各関係課 (地域包括ケア推進課)
23	介護	介護サービスの円滑な利用	介護サービス事業所情報の提供	市ホームページでの介護事業者情報検索システムの公開、介護事業所一覧冊子や介護サービス事業者ガイドブック『ハートページ』の配布を行い、事業所情報の提供に努めた。 引き続き、事業所情報を提供していく。	介護保険課
24	介護	介護サービスの円滑な利用	地域共生社会の実施に向けた取り組み	関係各課で検討してきた内容をまとめた報告書を地域福祉課に提出した。 今後も全庁的な相談支援のあり方について関係課と協議・検討を行う。	地域包括ケア推進課
25	医療	在宅医療の推進	顔の見える関係づくりの推進 (在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応の協議)	前半は新型コロナウイルスの影響で委員会等の開催を見送ってきたが、後半はZoom等を活用し委員会を開催した。 引き続き在宅医療・介護連携推進のため委員会を開催する。	地域包括ケア推進課
26	医療	在宅医療の推進	在宅医療のコーディネーターの機能強化	本人と家族向けの心得(在宅医療に関する心構えや知識)の作成に向けて勉強会を行った。 本人と家族についての心得(在宅医療に関する心構えや知識)を作成をする。	地域包括ケア推進課
27	医療	在宅医療の推進	在宅医療・介護連携に関する相談支援 (在宅医療支援拠点ふなぼーと)	相談件数については、昨年度よりも増加しているため、引き続き相談業務を継続する。 今年度相談件数:682件、昨年度相談件数:604件 引き続き市民公開講座や出前講座等を開催し、在宅医療の普及・啓発を図り相談件数の増加につなげる。 在宅医療支援拠点の在り方について、多職種で意見交換できる場や、意見を収集する方法について検討する。	地域包括ケア推進課
28	医療	在宅医療の推進	在宅医療の資源の把握	船橋市在宅医療・緩和ケア・リハビリテーションマップを作成し関係機関へ配布した。 引き続き船橋市在宅医療・緩和ケア・リハビリテーションマップを作成し関係機関へ配布する。	地域包括ケア推進課
29	医療	在宅医療の推進	在宅医療推進に係る市民への普及・啓発(ひまわりネットワーク)	船橋在宅医療ひまわりネットワーク市民公開講座については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で実施を見送った。 新型コロナ感染症の状況を考慮しつつ船橋在宅医療ひまわりネットワーク市民公開講座の開催を検討し、開催する。	地域包括ケア推進課
30	医療	地域医療連携の推進	後方支援の担い手等の支援体制の確立及びグループ診療の推進	新型コロナウイルスの影響で委員会等の開催が減り協議ができなかった。 各事業所間の連携確認アンケートを委員会内で共有し、今後は各事業所間の連携確認アンケートの結果を分析していく。	地域包括ケア推進課